

# 記入要領

## 大学の世界展開力強化事業 (令和元年度採択) 事後

「事後評価関係書類等の作成・提出について」に記載している整理番号 (事務局にて転載済)

大学等名 (○が代表大学)		整理番号			
主たる交流先					
事業名	(事務局にて転載済)	事業責任者の氏名及び所属部局等の名称・職名を記入してください。			
学長名					
事業責任者	(氏名) ○○ ○○ (職名) 大学院○○○研究科・教授 (交替年月日) 20XX年○月○日	事業責任者に交替があった場合のみ記入してください。			
取組学部・研究科等名	(事務局にて転載済)				
相手大学等名		日本語表記	英語表記	国名	備考
	①	(日本語表記は事務局にて転載済)			
	②				
	③	<b>※英語表記を記載してください。</b>			
	④				
	⑤	海外相手大学追加調書を提出した場合は、計画調書の【基本情報】海外の相手大学からの転載 (事務局にて転載済) に続けて、追加した相手大学等名 (日本語表記・英語表記) と国名を記入し、備考欄へ「事後評価時追記」と記入してください。 なお、中間評価時に海外相手大学追加調書を提出している分については、事務局にて記入済みです。			
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭			複数年度分の報告書等を提出する場合は、「備考」欄に年度を必ず記入してください。(西暦を記載) 参考資料がない場合は、資料名欄に「-」と記入してください。	
⑮					
参考資料一覧	1	大学の世界展開力強化事業 事業結果報告書	2019～2023年度		
	2				

事務担当者	(氏名) ○○ ○○○	(職名) ○○○部△△△課・副課長
連絡先	(住所) 〒	事務局の氏名及び所属部局等の名称・職名を記入してください。
	(電話番号)	

※事後評価調書の内容等について連絡可能な事務担当者を記入してください(複数名の担当者がある場合でも代表者1名の氏名・職名を記入してください)。また、連絡先E-mailについては、複数人で確認が可能なメールアドレスを記入してください。

「代表大学名」を記入してください。

(大学名 :

) (主たる交流先 : EU)

**プログラムの目的と内容**

① **プログラムの目的・概要等** (計画調書からの転載)

【プログラムの目的及び概要】

計画調書の [2. プログラムの目的と内容]  
2.1 プログラムの目的・概要等 からの転載 (事務局にて転載済)

【養成する人材像】

交流学生数については、本調書内の以下の数値において齟齬がないよう注意して作成してください。

- [プログラムの目的と内容] の「【本事業で計画している交流学生数】」
- [取組実績の概要] の「【本事業における交流学生数の計画と実績】」
- [2. 目標の達成状況] の「⑥本事業における共同学位プログラムの内容と構築数の推移」
- [2. 目標の達成状況] の「⑦本事業において海外に留学した日本人学生数の推移 (質の保証をともなった日本人学生の派遣者数)」
- [2. 目標の達成状況] の「⑧本事業において受け入れた外国人学生数の推移 (質の保証をともなった外国人学生の受入者数)」
- [2. 目標の達成状況] の⑦⑧交流学生数内訳

【本事業で計画している交流学生数】 ※各年度の派遣及び受入合計人数

(単位：人)

	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
合計人数										
申請時の計画 調書記載人数	調書記載人数等を「事後評価データシート」を活用して記入し、 表を図として貼り付けてください。									
海外相手大学 追加調書分										

② 事業の概念図 (計画調書からの転載) 【1ページ以内】

計画調書の [2. プログラムの目的と内容]  
2.2 事業の概念図 からの転載 (事務局にて転載済)

## 取組実績の概要 【1ページ以内】

- ・ [取組実績の概要] は、事後評価結果とともに基本的に原文のまま公表します。本事業の取組状況や成果、目標の達成状況及び補助期間終了後の展開等について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。
- ・ 本欄のみで完結するようにしてください。（「事後評価調書〇ページ参照」などの記載は認められません。）
- ・ 本欄に記入した内容について、本調書の他項目の記載事項と齟齬がないよう注意して作成してください。

※文字の大きさは10.5ポイントで記入してください。

## 【本事業における交流学生数の計画と実績】

(単位:人)

	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
計画※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実績												
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)												0
自国にて国際教育・交流プログラム をオンラインで受講した学生 (以下「オンライン」)												0
実渡航とオンライン受講を行った学生 (以下「ハイブリッド」)											0	0

調書記載人数等を「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。

※海外相手大学を追加している場合は、追加による交流学生数の増加分を含んでいる。

(大学名 :

) (主たる交流先 : EU)

## 特筆すべき成果（グッドプラクティス）【1ページ以内】

## 【Ⅰ 事業全般について】

- ・ **【特筆すべき成果（グッドプラクティス）】** は、事後評価結果とともに基本的に原文のまま公表します。本事業の成果について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。
- ・ 本欄のみで完結するようにしてください。「事後評価調書〇ページ参照」などの記載は認められません。
- ・ 適宜図表等を用いて作成いただいで構いません。
- ・ 本欄に記入した内容について、本調書の記載事項と齟齬がないよう注意して作成してください。

**※文字の大きさは10.5ポイントで記入してください。**

## 【Ⅱ コロナ禍における対応】

- ・ **【特筆すべき成果（グッドプラクティス）】** は、事後評価結果とともに基本的に原文のまま公表します。本事業の成果について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。
- ・ 本欄のみで完結するようにしてください。「事後評価調書〇ページ参照」などの記載は認められません。
- ・ コロナ禍であることを踏まえ、オンラインを活用してどのような工夫を図ったかについても記入してください。
- ・ 適宜図表等を用いて作成いただいで構いません。
- ・ 本欄に記入した内容について、本調書の記載事項と齟齬がないよう注意して作成してください。

**事業全体のアクティビティ** 【1ページ以内】

20XX年 月

20XX年 月

採択後から2023年度末までの当該事業に係るアクティビティについて、年月及び内容を、実施時期の早い順に記入してください。  
また、補助期間終了後である2024年度のアクティビティについては、記入しないでください。  
なお、必要に応じて、採択前（2019年4月～事業開始）のアクティビティを記入してもかまいませんが、それらは事後評価の対象とはなりません。  
記入する場合は、下記を参考に採択前のものであることを明示してください。

(採択前のアクティビティを記入する場合)

<b>事業全体のアクティビティ</b> 【1ページ以内】	
20XX年4月	.....
20XX年7月	.....
	(以上、採択前のアクティビティ)
20XX年12月	.....

## 1. 取組実績及び成果

### ① 交流プログラムの内容及び大学間交流の枠組み形成 【5ページ以内】

#### 【取組状況】

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

#### 【得られた成果と課題】

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

#### 【コロナ禍における対応】

コロナ禍において、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

② 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備 【(1)～(3)合わせて3ページ以内】

(1) 外国人学生の受入のための環境整備

【取組状況】

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【得られた成果と課題】

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【コロナ禍における対応】

コロナ禍において、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

(2) 日本人学生の派遣のための環境整備

【取組状況】

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【得られた成果と課題】

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【コロナ禍における対応】

コロナ禍において、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。



### (3) 関係大学間の連絡体制の整備

#### 【取組状況】

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

#### 【得られた成果と課題】

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

#### 【コロナ禍における対応】

コロナ禍において、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

**③ 事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及、交流プログラムの質の向上のための評価体制** 【(1)～(3)合わせて3ページ以内】

**(1) 事業の実施に伴う大学の国際化**

**【取組状況】**

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

**【得られた成果と課題】**

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

**【コロナ禍における対応】**

コロナ禍において、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

**(2) 国内外への情報提供の方法・体制、成果の普及**

**【取組状況】**

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

**【得られた成果と課題】**

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

**【コロナ禍における対応】**

コロナ禍において、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

### (3) 交流プログラムの質の向上のための評価体制

#### 【取組状況】

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

#### 【得られた成果と課題】

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

#### 【コロナ禍における対応】

コロナ禍において、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

④ 留意事項への対応等 【2ページ以内】

(1) 留意事項への対応

中間評価における留意事項	留意事項への対応状況
<p data-bbox="241 355 1055 491">中間評価結果に記載されている <b>(特記事項)</b> の&lt;留意事項&gt; (当該大学にのみ開示) からの転載 (事務局にて転載済)</p>	<p data-bbox="1211 336 2029 676">左記の <b>【中間評価結果】</b> の内容に対応する2021年度から2023年度末までの当該事業に係る取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。 また、2023年度末までに対応できなかった場合、及び留意事項が補助期間終了後の取組にまで言及している場合には、2024年度以降の取組状況、取組予定であることがわかるように記入してください。</p>

(大学名 :

) (主たる交流先 : EU)

## 2. 目標の達成状況

### ⑥ 本事業における共同学位プログラムの内容と構築数の推移 【2ページ以内】

(i) 共同学位プログラム構築の達成目標 (単位：件 (延べ数))

事業計画全体の達成目標 (事業開始～2023年度まで)	
うち申請時の事業計画全体の達成目標 (海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)	
中間評価までの達成目標 (事業開始～2020年度まで)	
うち申請時の中間評価までの達成目標 (海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)	

[上記の内訳] (単位：件)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
合計件数					
申請時の計画調書記載人数					
海外相手大学追加調書分					
ジョイント・ディグリー					
申請時の計画調書記載人数					
海外相手大学追加調書分					
ダブル・ディグリー					
申請時の計画調書記載人数					
海外相手大学追加調書分					

「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。

(ii) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス (事業計画全体、中間評価までの双方について)

計画調書の【3. 達成目標について】  
**3.1 本事業における日-EUジョイント・ディグリーとダブル・ディグリー**  
**といった共同学位プログラムの内容と構築数**  
 からの転載 (事務局にて転載済)

共同学位プログラム構築数の目標の達成状況 (単位：件 (延べ数))

事業計画全体の達成状況 (事業開始～2023年度まで)	
中間評価までの達成状況 (事業開始～2020年度まで)	

[上記の内訳] (単位：件)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
合計人数					
ジョイント・ディグリー					
ダブル・ディグリー					

左記に対する数値実績を、「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。

【目標の達成状況】

左記の内容に対応する2019年度の採択後から2023年度末までの達成状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

(大学名：

) (主たる交流先：EU)

⑦ 本事業において海外に留学した日本人学生数の推移（質の保証をともなった日本人学生の派遣者数） 【2ページ以内】

(i) 日本人学生数の達成目標 (単位：人(延べ数))

事業計画全体の達成目標 (事業開始～2023年度まで)			
うち申請時の事業計画全体の達成目標 (海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)			
中間評価までの達成	計画調書 (海外相手大学追加調書を提出している場合はその内容も含む) を参照し、「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。		
うち申請時の中間			
[上記の内訳]		(単位：人)	
		年度	2022年度
合計人数			
申請時の計画調書記載人数			
海外相手大学追加調書分			

(ii) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス (事業計画全体、中間評価までの双方について)

※質の保証に関する取組も記載

計画調書の [3. 達成目標について]  
**3.2 本事業において、海外に留学する日本人学生数の推移からの転載 (事務局にて転載済)**

日本人学生数の目標の達成状況 (単位：人(延べ数))

事業計画全体の達成状況 (事業開始～2023年度まで)						
中間評価までの達成状況 (事業開始～2020年度まで)						
[上記の内訳]		(単位：人)				
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
合計人数						
実渡航	左記に対する数値実績を、「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。					
オンライン						
ハイブリッド						

【目標の達成状況】

左記の内容に対応する2019年度の採択後から2023年度末までの達成状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

(大学名 :

) (主たる交流先 : EU)

⑧ 本事業において受け入れた外国人学生数の推移（質の保証をともなった外国人学生の受入者数） 【2ページ以内】

(i) 外国人学生数の達成目標 (単位：人 (延べ数))

事業計画全体の達成目標 (事業開始～2023年度まで)	
うち申請時の事業計画全体の達成目標 (海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)	
中間評価までの達成目標 (事業開始～2020年度まで)	
うち申請時の中間評価までの達成目標 (海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)	

[上記の内訳] (単位：人)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
合計人数					
申請時の計画調書記載人数					
海外相手大学追加調書分					

計画調書 (海外相手大学追加調書を提出している場合はその内容も含む) を参照し、「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。

(ii) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス (事業計画全体、中間評価までの双方について)

計画調書の【3. 達成目標について】  
**3.3 本事業において受け入れる外国人学生数の推移からの転載 (事務局にて転載済)**

外国人学生数の目標の達成状況 (単位：人 (延べ数))

事業計画全体の達成状況 (事業開始～2023年度まで)	
中間評価までの達成状況 (事業開始～2020年度まで)	

[上記の内訳] (単位：人)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
合計人数					
実渡航					
オンライン					
ハイブリッド					

左記に対する数値実績を、「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。

【目標の達成状況】

左記の内容に対応する2019年度の採択後から2023年度末までの達成状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

⑦⑧交流学生数内訳

(i) 交流学生数(実績)、(ii) 国内大学及び交流プログラムごとの交流学生数

(i) 交流学生数(実績)

(単位:人)

		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		合計		
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	
		各年度の派遣及び受入合計人数 (交流期間、単位取得の有無等の内訳は、(iii)表参照)												
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(内訳)	実渡航												0	0
	オンライン												0	0
	ハイブリッド												0	0

「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。

(ii) 国内大学及び交流プログラムごとの交流学生数

交流形態	①	単位取得を伴う交流期間30日未満の交流
	②	単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流
	③	単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流
	④	上記以外の交流期間30日未満の交流
	⑤	上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流
	⑥	上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流

A	実渡航
B	オンライン
C	ハイブリッド

1.【代表申請大学】

大学名			(単位:人)															
交流プログラム名 (相手大学名)	交流方向	交流形態	2019年度			2020年度			2021年度			2022年度			2023年度			合計
			A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C				
				派遣														
	受入																	0
	派遣																	0
	受入																	0
	派遣																	0
	受入																	0

2.【国内連携大学等】

大学名			(単位:人)															
交流プログラム名 (相手大学名)	交流方向	交流形態	2019年度			2020年度			2021年度			2022年度			2023年度			合計
			A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C				
				派遣														
	受入																	0
	派遣																	0
	受入																	0

【上記の表の補足説明や今後の展望】

(大学名 :

) (主たる交流先 : EU)



(iii) 本事業で実施した交流学生数（派遣・受入別 各内訳の集計）

(単位:人)

日本人学生の派遣【実績】	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	合計
年度別合計人数	0	0	0	0	0	0

【交流形態別 内訳】

単位取得を伴う交流期間30日未満の交流	0	0	0	0	0	0
実渡航						0
オンライン						0
ハイブリッド						0
単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流	0	0	0	0	0	0
実渡航						0
オンライン						0
ハイブリッド						0
単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流	0	0	0	0	0	0
実渡航						0
オンライン						0
ハイブリッド						0
上記以外の交流期間30日未満の交流	0	0	0	0	0	0
実渡航						0
オンライン						0
ハイブリッド						0
上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流	0	0	0	0	0	0
実渡航						0
オンライン						0
ハイブリッド						0
上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流	0	0	0	0	0	0
実渡航						0
オンライン						0
ハイブリッド						0

【上記の表の補足説明や今後の展望】

(大学名 :

) (主たる交流先 : EU)

外国人学生の受入【実績】	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	合計
年度別合計人数	0	0	0	0	0	0

【交流形態別 内訳】

単位取得を伴う交流期間30日未満の交流	0	0	0	0	0	0
実渡航						0
オンライン						0
ハイブリッド						0
単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流	0	0	0	0	0	0
実渡航						0
オンライン						0
ハイブリッド						0
単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流	0	0	0	0	0	0
実渡航						0
オンライン						0
ハイブリッド						0
上記以外の交流期間30日未満の交流	0	0	0	0	0	0
実渡航						0
オンライン						0
ハイブリッド						0
上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流	0	0	0	0	0	0
実渡航						0
オンライン						0
ハイブリッド						0
上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流	0	0	0	0	0	0
実渡航						0
オンライン						0
ハイブリッド						0

【上記の表の補足説明や今後の展望】

⑨ 任意指標に対する実績 【2ページ以内】

申請時の事業計画

【現状分析及び目標設定】

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

【計画内容】

事業計画の実施状況

【取組状況】

\* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

(大学名 :

) (主たる交流先 : EU)

その他（上記⑥～⑨に該当するもの以外）

●本来実渡航で行うべきところ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてオンラインで実施した国際教育・交流プログラム

開催年月	プログラム名称	参加者数	
記入例) 2020年3月～2021年5月	〇〇〇プログラム	▽▽	人
			人
			人
			人

「日本人学生数」の実績値及び「外国人学生数」の実績値としてはカウントできないが、本来実渡航で行うべきところ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてオンラインで実施した国際教育・交流プログラムがあれば、その名称と参加者数を記入してください。

（大学名：

）（主たる交流先：EU）

【プラットフォーム構築プログラムの内容】

プラットフォーム構築大学以外は、本ページを削除してください。

- ・2019年度の採択後から2023年度末までの取組内容について記入してください。
- ・取組内容のうち、戦略的な国内外への情報発信や海外の大学との交流促進に資する取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。
- ・記入する取組内容のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それとわかるように明示してください。

【達成目標への対応状況】

評価要項の観点に留意して、2019年度の採択後から2023年度末までの取組状況及び成果について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

**3. 今後の展開及び我が国の大学教育のグローバル展開力の強化に対する貢献** 【3ページ以内】

**【交流プログラムの内容及び大学間交流の枠組み形成】**

【外

【交流プログラムの内容及び大学間交流の枠組み形成】～【事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及、評価体制】の項目毎に、補助期間終了後も、明確な事業計画や資金計画を策定し、本事業の成果を活かした活動が自主的・恒常的に行われているか、もしくは行う予定があるか、また、本事業が我が国の大学教育のグローバル展開力の強化に貢献することができるかについて、それぞれ文頭に簡潔に1文で示した上で、具体的な説明は後述してください。

**【事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及、評価体制】**

**【その他我が国の大学教育のグローバル展開力の強化に対する貢献について】**

上記の各項目で記入した以外の内容があれば、記入してください。  
文頭に簡潔に1文で示した上で、具体的な説明は後述してください。

補助期間における各経費の実績【年度ごとに1ページ】

(単位:千円)

計画調書に記載した年度ごとの各経費の明細について、2023年度までの実績報告書に基づき記載。  
【年度ごとに1ページ】

＜2019年度＞	経費区分	補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
	[物品費]	5,255	0	5,255	
	①設備備品費				
	・○○システム一式	2,455		2,455	
	・視聴覚装置一式	2,800		2,800	
	・			0	
	②消耗品費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	[人件費・謝金]	0	0	0	
	①人件費				
	・雇用等経費(特任教授)			0	
	・雇用等経費(○○用事務補佐員)			0	
	・			0	
	②謝金				
	・謝金(○○フォーラム講師謝金)			0	
	・			0	
	・			0	
	[旅費]	0	0	0	
	・国内旅費(○○会議、実施調査)			0	
	・国外旅費(○○調査)			0	
	・外国人招へい等旅費(○○指導)			0	
	・			0	
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他(諸経費)				
	・返納	8,015		8,015	利息174円
	・			0	
	・			0	
2019年度	合計	13,270	0	13,270	

「補助金額(a)」欄には補助事業に要した補助対象経費の額を、「大学負担額(b)」欄には、自己収入その他の金額を記入してください。  
2019～2022年度分は確定済みの額を記入し、2023年度分は文部科学省に提出した実績報告書の額と一致するように記入してください。  
(ただし千円単位で記入し、端数調整をしてください。)

「補助金額(a)」及び「大学負担額(b)」を記入すると、「支出実績(a+b)」,各項目の合計額及び該当年度の合計額が自動的に計算されます。  
各費目の内訳については、内容がある程度わかるように記入してください。

なお、「大学負担額(b)」記載以外に、国立大学法人及び公立大学法人における「運営費交付金」等で自己負担額がある場合、備考欄に具体的な金額等を補足することは可能です。

国内の大学が複数連携して実施している事業の場合は、実績報告書等と同様に、分担金配分の内訳がわかるように記入してください。

返納がある場合は、「[その他] ⑥その他(諸経費)」欄に記入してください。

利息がある場合は「[その他] ⑥その他(諸経費)」の「備考」欄に実際の利息額を円単位で記入してください。

(前ページの続き)

(単位:千円)

<2020年度> 経費区分		補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
[物品費]		0	0	0	
①設備備品費					
・				0	
・				0	
・				0	
②消耗品費					
・				0	
・				0	
・				0	
[人件費・謝金]		0	0	0	
①人件費					
・				0	
・				0	
・				0	
②謝金					
・				0	
・				0	
・				0	
[旅費]		0	0	0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
[その他]		0	0	0	
①外注費					
・				0	
・				0	
・				0	
②印刷製本費					
・				0	
・				0	
・				0	
③会議費					
・				0	
・				0	
・				0	
④通信運搬費					
・				0	
・				0	
・				0	
⑤光熱水料					
・				0	
・				0	
・				0	
⑥その他(諸経費)					
・				0	
・				0	
・				0	
2020年度	合計	0	0	0	

(代表大学名: ) (タイプA 主たる交流先: EU )



(前ページの続き)

(単位:千円)

<2021年度> 経費区分		補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
[物品費]		0	0	0	
①設備備品費					
・				0	
・				0	
・				0	
②消耗品費					
・				0	
・				0	
・				0	
[人件費・謝金]		0	0	0	
①人件費					
・				0	
・				0	
・				0	
②謝金					
・				0	
・				0	
・				0	
[旅費]		0	0	0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
[その他]		5,000	0	5,000	
①外注費					
・				0	
・				0	
・				0	
②印刷製本費					
・				0	
・				0	
・				0	
③会議費					
・				0	
・				0	
・				0	
④通信運搬費					
・				0	
・				0	
・				0	
⑤光熱水料					
・				0	
・				0	
・				0	
⑥その他(諸経費)					
・ 繰越		5,000		5,000	
・				0	
・				0	
2021年度		合計	5,000	0	5,000

繰越がある場合は、「[その他] ⑥その他(諸経費)」欄に記入してください。

(代表大学名: ) (タイプA 主たる交流先: EU )

(前ページの続き)

(単位:千円)

<2022年度> 経費区分		補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
[物品費]		0	0	0	
①設備備品費					
・				0	
・				0	
・				0	
②消耗品費					
・				0	
・				0	
・				0	
[人件費・謝金]		0	0	0	
①人件費					
・				0	
・				0	
・				0	
②謝金					
・				0	
・				0	
・				0	
[旅費]		0	0	0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
[その他]		0	0	0	
①外注費					
・				0	
・				0	
・				0	
②印刷製本費					
・				0	
・				0	
・				0	
③会議費					
・				0	
・				0	
・				0	
④通信運搬費					
・				0	
・				0	
・				0	
⑤光熱水料					
・				0	
・				0	
・				0	
⑥その他(諸経費)					
・				0	
・				0	
・				0	
2022年度	合計	0	0	0	

(代表大学名: ) (タイプA 主たる交流先: EU )

(前ページの続き)

(単位:千円)

<2023年度> 経費区分		補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
[物品費]		0	0	0	
①設備備品費					
・				0	
・				0	
・				0	
②消耗品費					
・				0	
・				0	
・				0	
[人件費・謝金]		0	0	0	
①人件費					
・				0	
・				0	
・				0	
②謝金					
・				0	
・				0	
・				0	
[旅費]		0	0	0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
[その他]		0	0	0	
①外注費					
・				0	
・				0	
・				0	
②印刷製本費					
・				0	
・				0	
・				0	
③会議費					
・				0	
・				0	
・				0	
④通信運搬費					
・				0	
・				0	
・				0	
⑤光熱水料					
・				0	
・				0	
・				0	
⑥その他(諸経費)					
・				0	
・				0	
・				0	
2023年度	合計	0	0	0	

(代表大学名: ) (タイプA 主たる交流先: EU )